

支援プログラム

法人（事業所）理念		誰もが自分らしく生きていける世界に						
支援方針		私たちは、一人ずつ違うその子をよく理解し、尊重し、お子様の今と未来にとって意味のある教育を行います。 その子の持つ育つ力を活かす為に、特性を踏まえて段階に応じたアプローチを行います。 今困っていることに向き合いながら、お子様にとってもご家族にとっても毎日の生活の中で「楽しい」と思える時間を増やすことを目指します。 お子様だけでなく、ご家族様へのアプローチ・支援を大事に取り組んでいきます。						
営業時間		長居教室	9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	なし
		住之江教室	10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり
		昭和町教室	9 時	30 分から	18 時	30 分まで	送迎実施の有無	なし
		支 援 内 容						
本人支援	健康・生活	来所時及び活動中の心身の状況の観察 物の配置や、スケジュールなど目に見えない概念や時間を目で見分けるようにし、自発的に動くことが出来るようになる為の支援						
	運動・感覚	トランポリンやゲームなど楽しく身体を動かすことによる運動機能の基本的技能の向上（学習に相応しい覚醒レベルを狙います） 感覚の特性を踏まえて活動内容を調整します 感覚の特性を活かした活動内容にします						
	認知・行動	活動の中で認知の特性について理解し、どんな課題があるのかを設定します 認知の特性（物事の見え方・感じ方）を踏まえて活動内容や学習環境を調整します 社会の中で許容されにくい行動を予防する為に、その行動の機能を考慮した上で代替手段を獲得できるようにします						
	言語 コミュニケーション	遊びを中心とし、相手と注意・注視を共有できるよう、コミュニケーションの基礎的な力を養います 子どもの発信に大人が感応することでやりとりのキャッチボールが楽しいと思う気持ちを喚起します 話し言葉・文字・記号・ジェスチャーなど、子どもが現在もっている表出できる手段を活用し理解と表出を促します 「コミュニケーションが楽しいものである」と子どもが感じている状態で言語の形成を狙っていきます						
	人間関係 社会性	やりとりが必要な遊びを通じて、自分以外の存在を意識できるように促します 子どもの現在の興味関心・発達段階に見合った遊び・登場人物を設定し、相手との関係づくりをサポートします 段階に応じて、集団への参加をサポートします						
家族支援		ペアレント・プログラム（主に幼児期のお子様との関わり方を学ぶ機会） 利用回ごとにご家族様からの相談への助言 個別の相談会（月1～2回程度）				移行支援	ライフステージ毎の環境変化を踏まえた支援内容と準備を行います 園・学校への情報提供	
地域支援・地域連携		園・学校との情報共有 地域の施設・医療機関との連携				職員の質の向上	社内での集合研修・各教室ごとの勉強会・輪読会（月例） ※主にTEACCHプログラム・ABA・Jasper・INREALアプローチ 各教室スタッフから選任・組織された支援向上委員会で各施策の実施 外部研修参加 （自由が丘こころの発達研究所の月例研修・自閉症eサービスの研修 長崎大学高度人材育成プログラムなど）	
主な行事等		季節ごとのプログラム実施（工作・卒業式など）						